

～教育目標～

「よく学び、より鍛え、よりよく挑む」

児童生徒の育成



朝夕の冷え込みがようやく穏やかになり、いよいよ本格的な春の訪れを感じるころとなりました。心新たに一步を踏み出す年度の幕開けです。

舞鶴支援学校は、今年度、舞鶴若狭自動車道・舞鶴西インターチェンジのすぐそば、この舞鶴市堀の地に開校して20年目を迎え、小学部75名、中学部43名、高等部62名、全校児童生徒数は開校以来最多の180名で令和6年度をスタートします。舞鶴市全域を校区とし、地域に見守られ大切に歩みを重ねてきた本校ですが、今年度も様々な力をお借りし、人・文化・産業等の資源を存分に生かしながら、子どもたち一人一人の可能性を最大限発揮するよりよい自立と社会参加の実現に向けて教育活動を進めて参ります。開校20周年の節目を祝いながらも、これからの特別支援学校、また、特別支援教育のセンター的役割を果たす拠点としてあるべき姿を探し、足元を謙虚に見直しながら教育活動を進めて参りたいと存じます。

今年度から、舞鶴市と連携し、文部科学省「インクルーシブな学校運営モデル事業」に、取り組むことになりました。平成19年に特別支援教育がスタートし、懸命に整えてきた学びの場は、学齢期の子どもたちの数が減少する中にありながら大幅に在籍児童生徒数が増え続けています。「障害のある児童生徒と障害のない児童生徒が交流及び共同学習を発展的に進め、一緒に教育を受ける状況と、柔軟な教育課程及び指導体制の実現を目指す」とするこの事業において、障害のある人もない人もそれぞれに役割を持ちながら自分らしく参画できる共生社会が力強く形成され、送り出す子どもたちがその一員として活躍する姿を見据えながら、地域の小・中学校、高等学校等に学ぶ子どもたちとのつながりや関わりを広げ、深めていくために知恵を絞っていきたいと考えています。

「よく学び、より鍛え、そしてよりよく挑め」の校訓のもと、それぞれの子どもたちが、個別の指導計画に基づくオーダーメイドの学びを通してたくさんの「わかる」「できる」に出会い、「もっと知りたい」「もっとできるようになりたい」と心揺さぶられて、新たなこと、未経験の場面にも臆せず立ち向かっていく力をぜひ育てていきたいと考えています。コミュニティ・スクールの取組や地域での体験、産業現場での実習等のさらなる充実を含め、学校の中だけで教育を完結させるのではなく、保護者の皆様や地域の力も大いにお借りしながら、子どもたちが様々な体験を通して生きる力を高めていくことができるよう、今後も変わらぬ御理解とより一層の御支援を賜りますようお願い申し上げます、年度当初の御挨拶とさせていただきます。